

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

### ●地域資源活用対策及び人材活用対策(都市農村共生・対流)

#### 6件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	R1	R2	R3		
中国四国	愛媛県	上島町	島のミライ協議会	●	●	●	●	●■		C	コロナ禍において取組は概ね行われたものの、資料の整理や実施体制が個人で行われており、継続性が問題である。今後、上島町役場を含めた実施体制の再構築を実施するなど継続できる体制整備が必要である。
中国四国	高知県	日高村	日高村地域資源活用協議会	●	●	●		■		B	日高村地域資源活用協議会による農産物のブランド化、生産者と消費者をつなぐ取組を実施した。交流人口については、お茶畑の魅力を生かした交流イベント等により目標を達成した。また売上目標については「シュガートマト」および加工品の販売促進活動、「霧山茶園」での体験交流イベントでの金額を計上したが、事業の交付金を十分に活用できず、回数が少なくなってしまったことから、目標の85%程度に留まっている。雇用については、農業参入した法人への雇用により、大きく目標を上回っている。 また、トマト及びお茶の6次産業化について、新たな商品や体験メニューの開発を行ったことを販売戦略に生かしながら、今後の販売促進活動につなげていく。
中国四国	徳島県	小松島市	小松島市和田島地区地域協議会		●	●	●	●	○□	A	地域の特産物である「しらす」「ちりめん」のブランド化→29年度目標の2品目認定を上回る3品目認定(とくしま特選ブランドとして認定されている。徳島発むらのたからとして、徳島県知事より和田島しらす「海に輝く白い宝石」としてむらのたから認定され、地域全体のブランド力やネーミング産地をPRしている。体験型観光のプログラムの確立が、3種でき、参加者は主に市外から呼び込んでおり観光効果がある。漁協女性部食堂の来場者数の増加と売り上げの増加が毎年5%以上伸びていることから、優良と評価する。
中国四国	徳島県	上勝町	かみかつ棚田未来づくり協議会		●	●	●	●	□	B	活動計画策定:基本計画策定、実施計画策定を実施、「食」でつなぐ「星の駅ネットワーク」PJを実施、森林復元スギの家くるくるPJを実施。LED棚田ライトアップ交流創出PJ、文化遺産の棚田往還道復元交流PJ、活動促進のための人材育成PJ、若者ボランティア連携PJ、寄付募集PJ、双方向情報発信PJ、棚田アクティビティ交流創出PJ、活動連携交流創出PJを実施。売上は目標達成に至らず、販売促進の体制強化が必要であるが、雇用は現状維持、H30・R1で低調だった交流人口はコロナ禍にも関わらず目標達成しており、良好と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

中国四国	高知県	室戸市	室戸市農村集落活性化協議会		●	●	●	●	○□	A	事業を実施するにあたり、高知県農業協同組合及び地元団体の他、室戸市の移住関係部署等で構成される部会での協議を行った上、構成員が各々の役割を認識した上で営農指導や都市交流事業での企画立案・運営などのサポートを行った。
中国四国	高知県	香南市	香南市農業活性化地域協議会		●	●	●	●	○□	B	交流人口については、イベントが、コロナ禍ではあったものの、感染症対策を実施しての開催に香南市内外からの来場者で賑わった。しかし、PRイベント等が新型コロナウイルス感染防止対策として中止されたこと等により交流人口は伸び悩み目標値対比65%となった。売上は、山北みかん加工品売上が前年度に比べ増加したが、ニラ・プロジェクトにおける新メニュー開発は進まず、目標値を下回っている。雇用については、前年度対比で増加しており目標達成となった。各目標は達成できていないものもあるが、山北みかん並びに産地については、1年目から加工品開発及び販売開始ができたことで、各イベント(こもれびマルシェの定着や東京でのPR展の開催等)やふるさと納税返礼品として使用することにより、産地内外で知名度UPの効果が現れている。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

### 【令和2年度農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の評価概要】

#### 都市農村共生・対流対策

- ・令和2年度の事業評価では、平成28年度採択2団体及び平成29年度採択4団体の合計6団体を評価した。
- ・事業評価の結果、実施計画に基づく取組が概ね実施され、成果も十分上がっていると認められる総合評価「A」が3団体で、取組がある程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる総合評価「B」が2団体。
- ・取組状況、事業実績、実施体制のいずれかが低調であると認められる総合評価「C」が1団体。
- ・本交付金によって地域の活性化に向けて一定の成果が出ていると認められる一方で、目標の達成状況が低調な団体に対しては重点的な指導、助言等を行う必要がある。
- ・特にC評価となった「島のミライ協議会」については、地域の活性化を継続的に実施できるような事業体制の整備を再構築する必要がある。

令和2年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)  
事業実施主体 評価一覧

【令和3年度評価委員会の議事概要】

- 1 日時:令和3年9月17日(金)13:30~15:30
- 2 場所:中国四国農政局会議室(10階)
- 3 概要:令和3年度評価対象団体の評価について  
令和2年度都市農村共生・対流及び地域活性化対策を実施した6団体について、評価案等に関して、了解を得た。
- 4 主な意見:
  - ・地域資源を使ってブランド化すること、地域の人たちを巻き込んで地域を守っていくことが大事。